

オーディオ実験室収載

OPT ISO BOX の導入(4)(HP 収載) —ルーターとスイッチングハブと PC 間への適用(1)—

1. 始めに

TOP WING の LAN の光アイソレーター OPT ISO BOX を導入しましたので、前報(1)の計画にしたがい、順次適用して報告していきます。

2. OPT ISO BOX の試聴計画

今回は、ルーターとスイッチングハブ間およびスイッチングハブと PC 間の 2ヶ所への LAN 接続への適用です。そのために OPT ISO BOX と LAN ケーブルを追加導入しました。追加の LAN ケーブルは前報(2)と同じです。



ルーター→スイッチングハブ間 LAN



スイッチングハブ→PC 間 LAN

以上のことばは、[Phileweb 記事](#)の「ハイコスパに驚け！大ヒット光アイソレーター、トップウイング「OPT ISO BOX」の実力」において、2ヶ所への適用の効果に関する記載内容を参考にしたものです。

前報(2)と前報(3)と同様、LAN アキュライザーはそのままとし、LAN iSilemcer は外しています。

試聴の音源は STAGE+の配信の下記とします。

ニコロ・パガニーニ 24 のカプリース 作品 1

マリア・ドゥエニヤス (ヴァイオリン)

オペラアリア集

ヘラ・イエサン・パク (ソプラノ)、フレディ・デ・トマーゾ (テノール)、

アイグル・アクメチーナ (メゾソプラノ)、ポール・グラント (バリトン)

ペーテル・ハラース指揮ハンガリー国立歌劇場管弦楽団

ベートーベン ピアノソナタ 30 番・31 番・32 番

マウリチオ・ポリーニ（ピアノ）
バッハ クリスマス・オラトリオ BWV 248
バーゼル室内管弦楽団、ドイツ室内合唱団
チャイコフスキー ピアノ協奏曲 1番
アレクシス・ワイゼンベルグ（ピアノ）
ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリンフィル

3. OPT ISO BOX の試聴結果

通信速度は元の 100Mbps のまま使用します。

パガニーニの 24 のカプリースは、前報(2)の印象はそのまま継承し、ヴァイオリンの高弦はより滑らかに、低弦はより深みのある音になっており、ドゥエニヤスのスリリングな演奏技量を堪能できます。

オペラアリア集は、椿姫の乾杯の歌を聴きましたが、前報(2)の印象のステージ感の向上はもとより、ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バリトンの声の張りに加えて滑らかさが加わります。

ベートーベンのピアノソナタは、前報(2)の印象の Fabbrini の音のリアリティによる、演奏のフレージングの把握も分かりやすくなることはそのままに、強調感が薄れ、より自然な表現となり、演奏会のような実在感がでています。

バッハのクリスマス・オラトリオは、前報(2)の印象はそのままに、古楽器の質感もソリストの声の質感もより鮮明になり、収録環境の空間表現も向上しています。

チャイコフスキーのピアノ協奏曲 1番は、前報(2)のワイゼンベルグのピアノの一音一音のアタック感の精度が上り、カラヤン指揮ベルリンフィルの、コントラバスのピチカートがさらに鮮明になるなど、オーケストラの各パートの質感がさらに向上し、かなり以前の収録ですが、鮮度感が向上した印象です。

4. まとめ

OPT ISO BOX のルーターとスイッチングハブ間およびスイッチングハブと PC 間の 2ヶ所への LAN 接続への同時適用の顕著な効果を認めました。

以上